

## 競技者注意事項及び大会規定

1 本大会は、2019年度（公財）日本陸上競技連盟規則ならびに本大会規定及び監督会議での申し合わせ事項によって行う。

### 2 招集について

(1) 招集所は、競技場第1ゲート（100mゴール地点付近）に設ける。

(2) 招集開始及び完了時刻は次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始70分前	競技開始60分前

### (3) 招集の手順

- ①競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、競技者係にユニフォームのナンバーカード、スパイク、衣類及びバック等の商標の確認を受けた後、係員の誘導で競技場に入る。
- ②代理人による招集は認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が当該競技の招集開始時刻までに所定の用紙に記入し、招集所にて競技者係に提出する。
- ③招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- ④やむを得ず出場種目を欠場する場合には、招集開始時刻までに招集所にて競技者係まで欠場届を提出する。
- ⑤監督会議で承認を受けた選手以外の競技者変更は認めない。
- ⑥四種競技の第2種目以降は、混成競技者控え室（フィニッシュ側のウォーミングアップ室）にて点呼を受ける。招集時刻はフィールド競技40分前、トラック競技30分前とする。

### 3 競技場への入退場について

- (1) 入退場は競技役員の指示に従って整然と行う。なお、本部前の通行は禁止とする。
- (2) 競技終了後は競技場外へ退場すること。トラック競技の競技者は、第1ゲート（フィニッシュ付近）から退場すること。（スタート地点で脱いだ衣服と荷物を競技役員が第1ゲートに運ぶ。）第1曲走路内側で競技をする走高跳の競技者は、第1ゲート（フィニッシュ付近）から、第2曲走路内側で競技をする砲丸投の競技者と走幅跳の競技者は、第4ゲート（100mスタート付近）から退場すること。
- (3) 競技を行う選手以外はトラック、フィールド内に立ち入らないこと。
- (4) 決勝において8位までに入賞した競技者は表彰を行うので、係員の誘導によって、競技終了後ただちに表彰者控え場所（エントランスホール）に行き待機すること。他の種目と重なる場合は代理人を出すこと。（ユニフォーム着用）

### 4 競技について

- (1) レーンで行う競技では、フィニッシュライン通過後、自分のレーン（曲走路）を走り、他走者の妨害をしないこと。
- (2) 競技規則第144条（規定に定められた助力以外は受けてはならない）について特に注意すること。

- (3) 本競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は、12mm以下とする。
- (4) トラック競技において、決勝進出のプラスアルファの決定は、予選終了後、番組編成員が編成の上、直ちにアナウンスと大型映像装置を通して発表する。
- (5) トラック競技の決勝については、主催者側で公平に抽選し、レーン順を本競技場2階コンコース掲示板及び招集所に掲示する。
- (6) ナンバーカードは、ユニフォームの胸背部に確実に取り付けること。ただし、跳躍種目の選手は、胸または背のどちらか一方でもよい。
- (7) 4×100mRの競技者は、主催者が用意したマーカーを一人1カ所に限り使用することができる。マークは前走者が必ず取り除くこと。
- (8) 跳躍種目の競技者は、助走や跳躍の際、主催者が用意したマーカーを2カ所まで置くことができる。また、砲丸投の競技者は、サークルの直後またはサークルに接してマーカーを1個置くことができる。その撤去は使用した競技者が責任をもって行う。  
(競技規則第180条3(a)(b))
- (9) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、第162号の5については適応しない。男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。(競技規則第162条8、及び200条8(c))

5 バーの上げ方は次の通りとする。

走高跳および棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	
棒高跳	任意の高さ	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	以降10cmずつ
男子走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以降3cmずつ
男子四種走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降3cmずつ
女子走高跳	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以降3cmずつ
女子四種走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降3cmずつ

6 用器具について

競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用すること。ただし、棒高跳のポールについては、競技者側で用意したもの（現地の跳躍審判員に検査を受けて合格したものに限る）を使用すること。

7 表彰について

- (1) 各種目1位から8位までに賞状を授与する。(リレー種目は3位)
- (2) 競技は県対抗とし、各種目の合計得点によって、「男女総合」「男子総合」「女子総合」の順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を優先)なお、得点は種目別に1位9点、2位、7点・・・8位1点の逆算法とする。ただし、開催県のリレーの得点は、出場チームの最高順位の得点とする。

8 諸届けについて

リレーオーダー用紙、二種目同時出場届、欠場届等は監督会議で配布する。また、招集所にも用意する。リレーオーダー用紙については招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

## 9 練習について

- (1) 練習は、本競技場、室内練習場、補助競技場で行うこと。
- (2) 安全に十分配慮し、できるだけ各チームのコーチの指導のもとに行うこと。
- (3) 練習時間は次の通りとする。ただし、用器具の使用時間は公開練習要綱を参照。

	本競技場	室内練習場	補助競技場
7日(水)	9:00~17:00	9:00~18:00	13:00~18:00
8日(木)	7:00~ 8:40 ※ 開門 7:00	7:00~18:00	7:00~18:00
9日(金)	7:00~ 9:10 ※ 開門 7:00	7:00~12:00	7:00~12:00

※ 8日(木)棒高跳の練習は10時までとする。ただし開会式の最中は行わないこと。

- (4) 室内練習場は、ダッシュ練習のみとします。ジョギングや動きづくり、走幅跳の練習やラダー・スターティングブロック・ハードルなどの器具を設置しての練習は禁止します。
- (5) 本競技場周囲の周回コース(1000m)は、一般の方も使用します。ジョギングとウォーキング専用です。スパイクを履いての練習や器具を置いての練習、ダッシュやバトン練習、逆走は禁止します。

## 10 その他

- (1) 発病、負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。
- (2) 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任を負わない。
- (3) 当日の記録(結果)は、本競技場2階コンコースの掲示板に掲示する。
- (4) 応援はスタンドで行い、競技場へは入らない。
- (5) メインスタンドでの声をそろえての一斉応援は行わない。
- (6) 応援横断幕はバックスタンド中段の手すりに張ること。メインスタンドは禁止。(のぼりも)
- (7) 競技場を汚さないようにすること。特に空き缶類、弁当がらの片づけは各校・各県で責任をもって行うこと。
- (8) 正面入口からグラウンド内へは入ることができない。
- (9) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影について、以下の点に留意すること。
  - ① 保護者及び本人の了解がない撮影を禁止する。
  - ② 次の場所および場合の撮影を禁止する。
    - ・100mスタート地点の後方、フィニッシュライン前方での撮影。
    - ・競技者がスターティングブロックの足合わせをしている時。
  - ③ 競技の様子を撮影した動画や画像をSNSなどのネット上にアップするなどの行為は原則的に禁止します。動画や画像に写っている競技者の許可なくネット上に公開することで、大きなトラブルが発生しています。ご理解とご協力をお願いします。